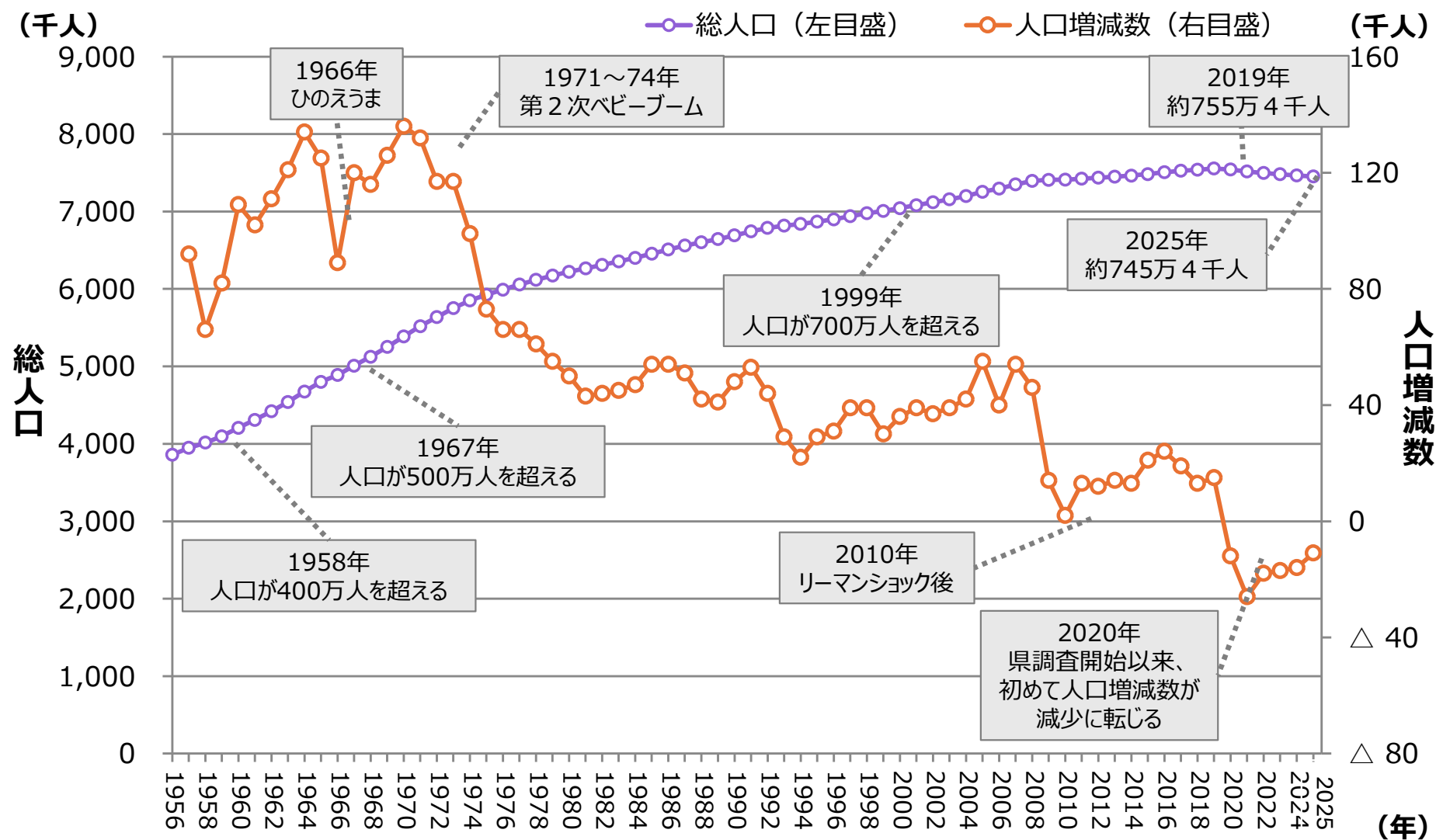


愛知県の人口動向について

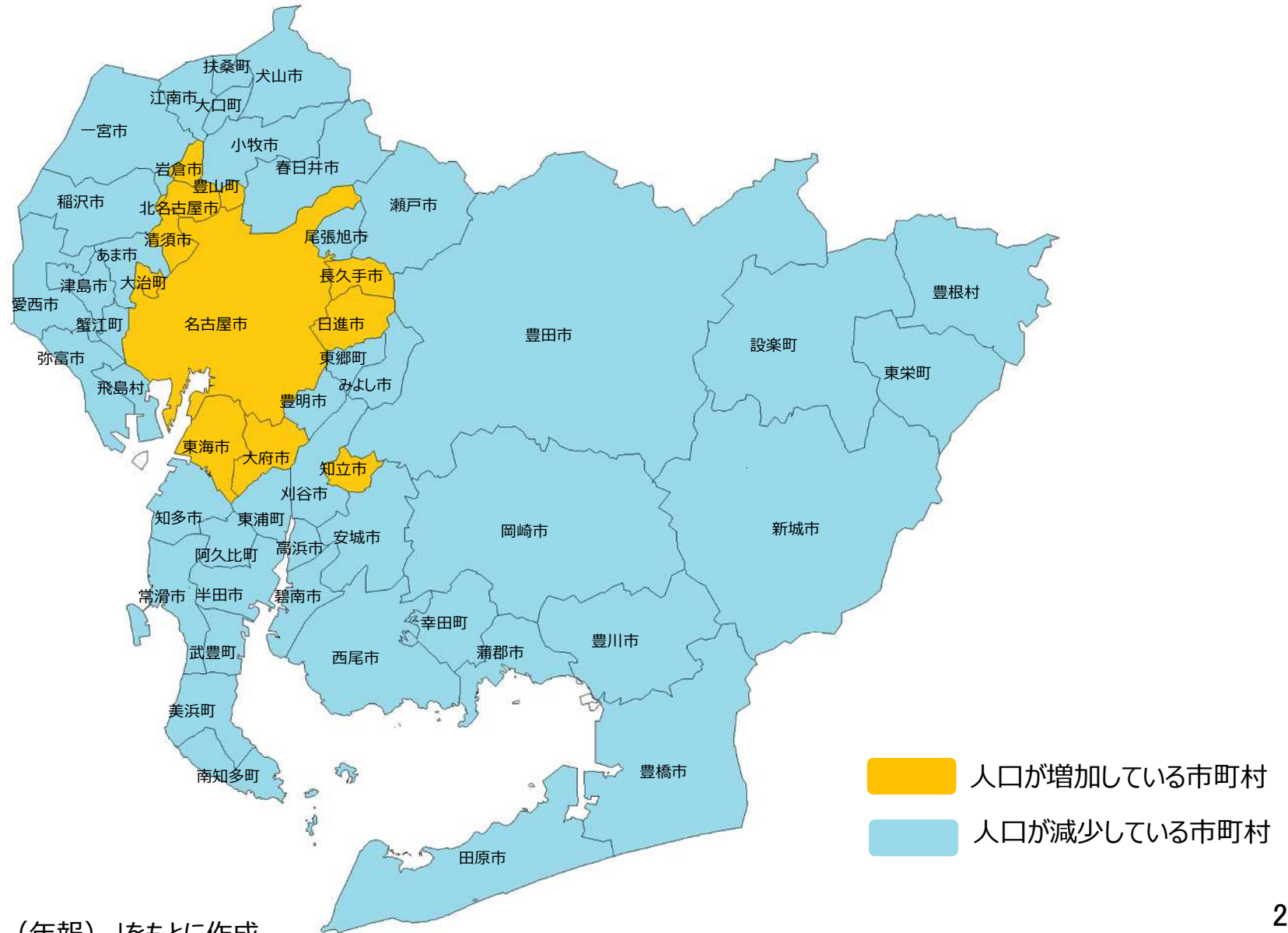
愛知県の総人口・人口増減数の推移

- 愛知県の人口は、2019年の約755万4千人をピークに6年連続の減少となり、2025年10月1日時点で約745万4千人。



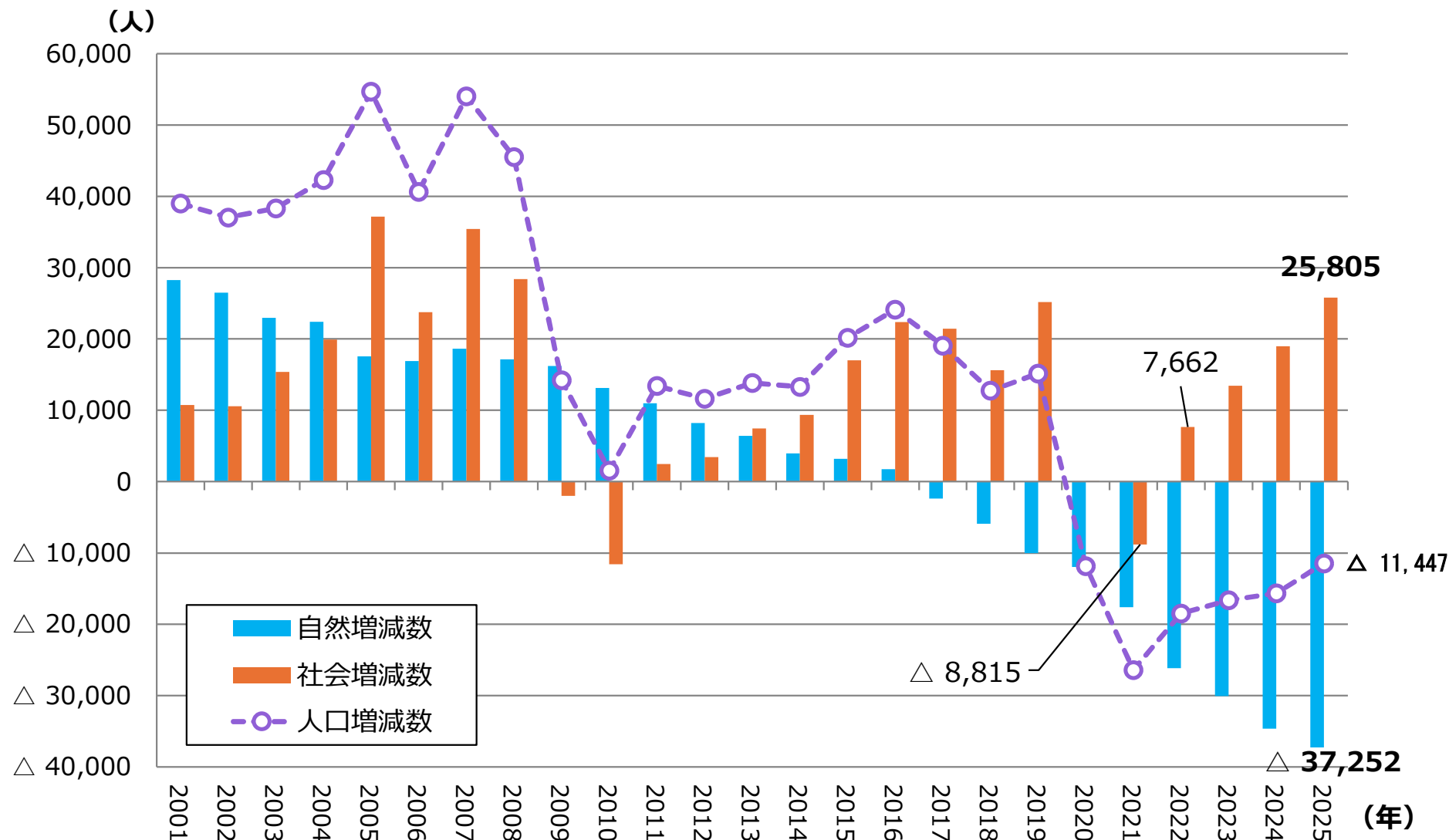
市町村別人口

- 2024年10月～2025年9月の人口増減数を県内の市町村別に見ると、県内54市町村のうち、11市町で増加した一方、43市町村で減少しており、人口減少地域は県内全域に広がっている。



自然増減・社会増減別の人口増減数の推移

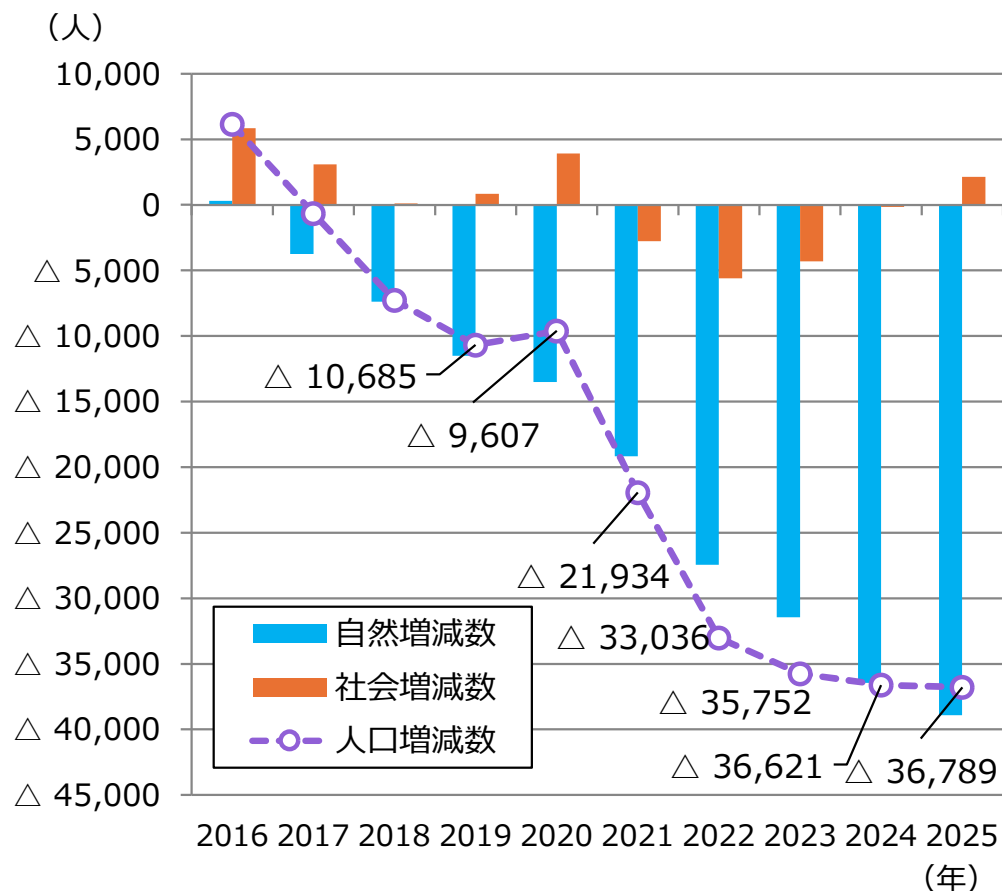
- 自然増減数は、2017年に減少に転じて以降、減少幅が拡大しており、2025年は37,252人の減少。
- 一方、社会増減数は、経済環境や新型コロナウイルス感染症の影響を受け、2021年は11年ぶりに減少となったが、2022年から増加に転じ、2025年は25,805人の増加となった。



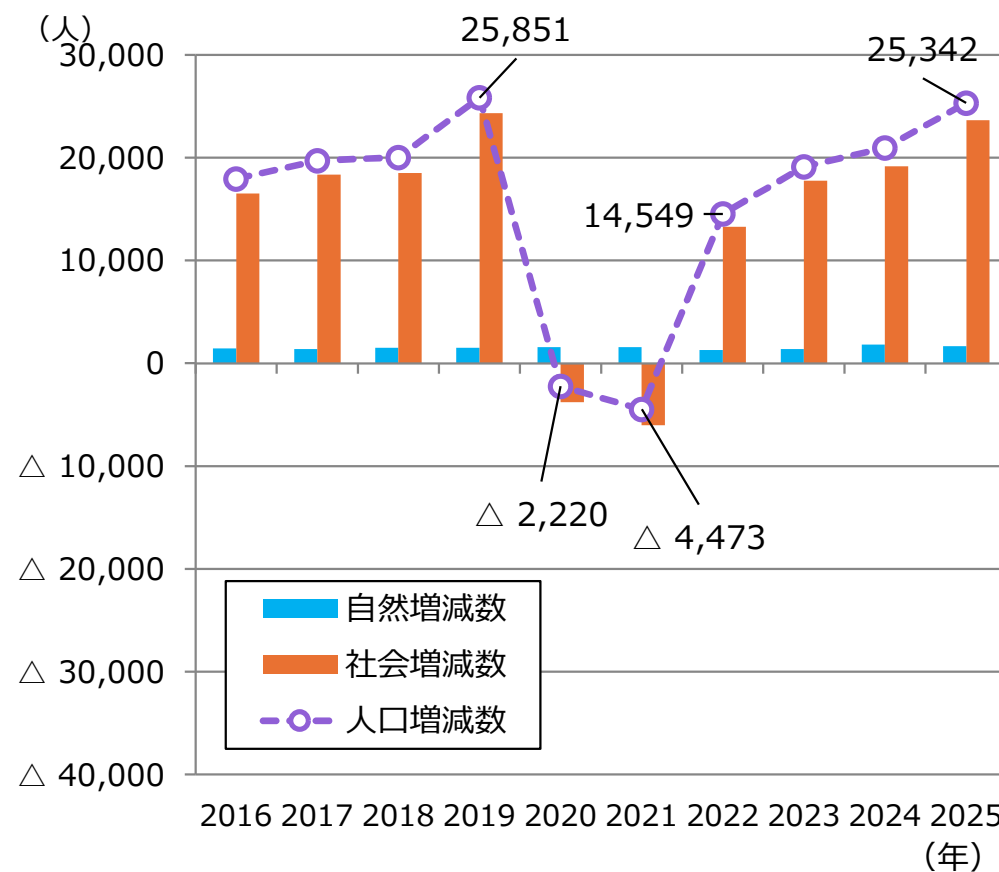
日本人・外国人別の人口増減数の推移

- 県内の日本人人口は、自然減の拡大に伴い、減少幅が拡大している。
- 外国人人口は、2019年は年2万人を超える増加であったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う入国規制等により、2020年及び2021年は減少となった。入国規制の緩和等に伴い、2022年に再び増加に転じ、2025年は25,342人の増加となった。

日本人人口

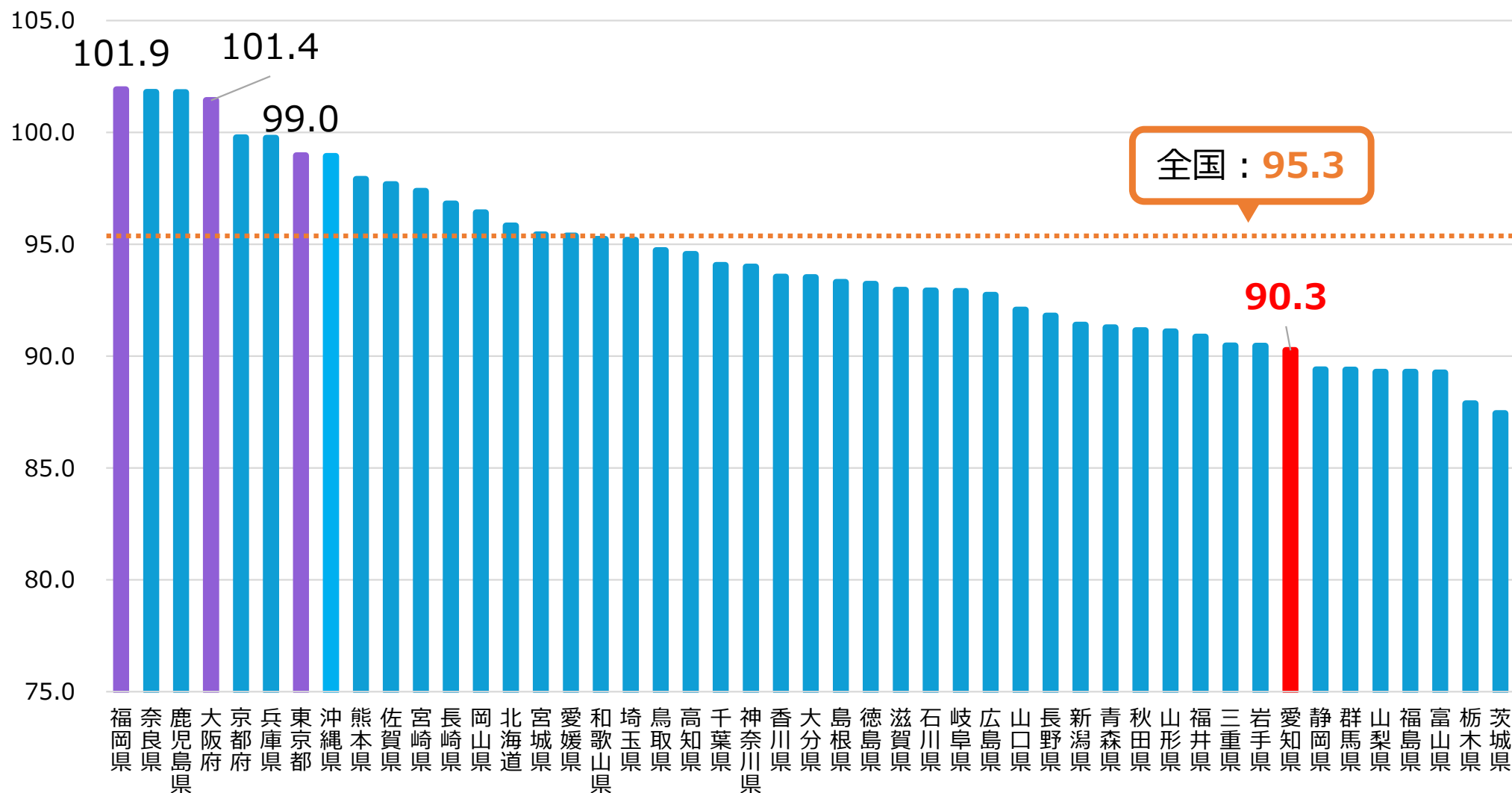


外国人人口



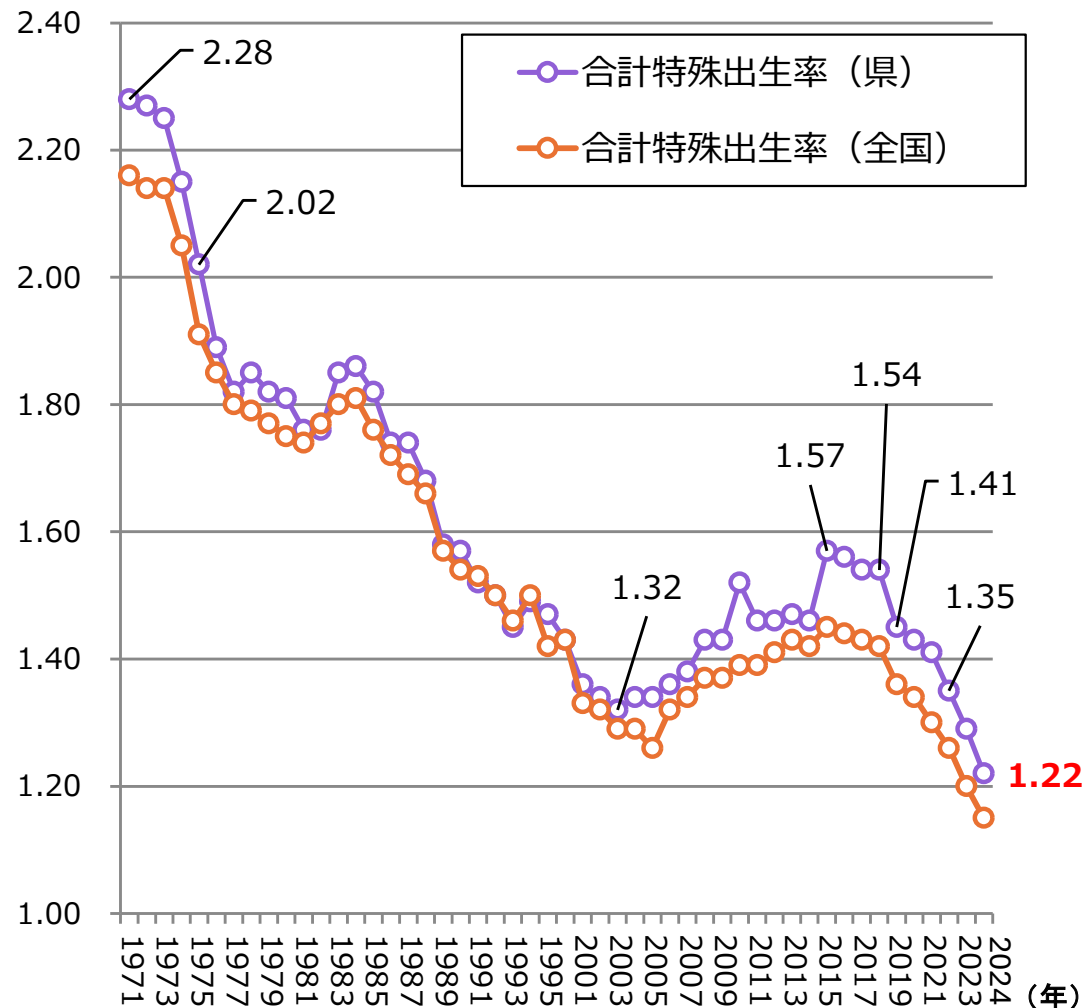
人口の男女比

- 2025年1月1日時点での20～39歳の男性100人に対する同世代の女性数は90.3人となっており、全国平均の95.3人と比べて低く、都道府県別では8番目に低い。



合計特殊出生率の推移

- 愛知県の合計特殊出生率は、2003年の1.32を底に緩やかな上昇傾向が続いていたが、2015年を境に低下傾向となり、2024年は1.22と、過去最低値となっている。
- 都道府県別では、高い方から27番目で、大都市圏の中では高い水準となっている。



【都道府県別合計特殊出生率】

順位	都道府県名	合計特殊出生率
1	沖縄	1.54
2	福井	1.46
3	島根	1.43
3	鳥取	1.43
3	宮崎	1.43
6	佐賀	1.41
7	長崎	1.39
7	熊本	1.39
9	鹿児島	1.38
10	大分	1.37
11	山口	1.36

27	愛知県	1.22
----	-----	------

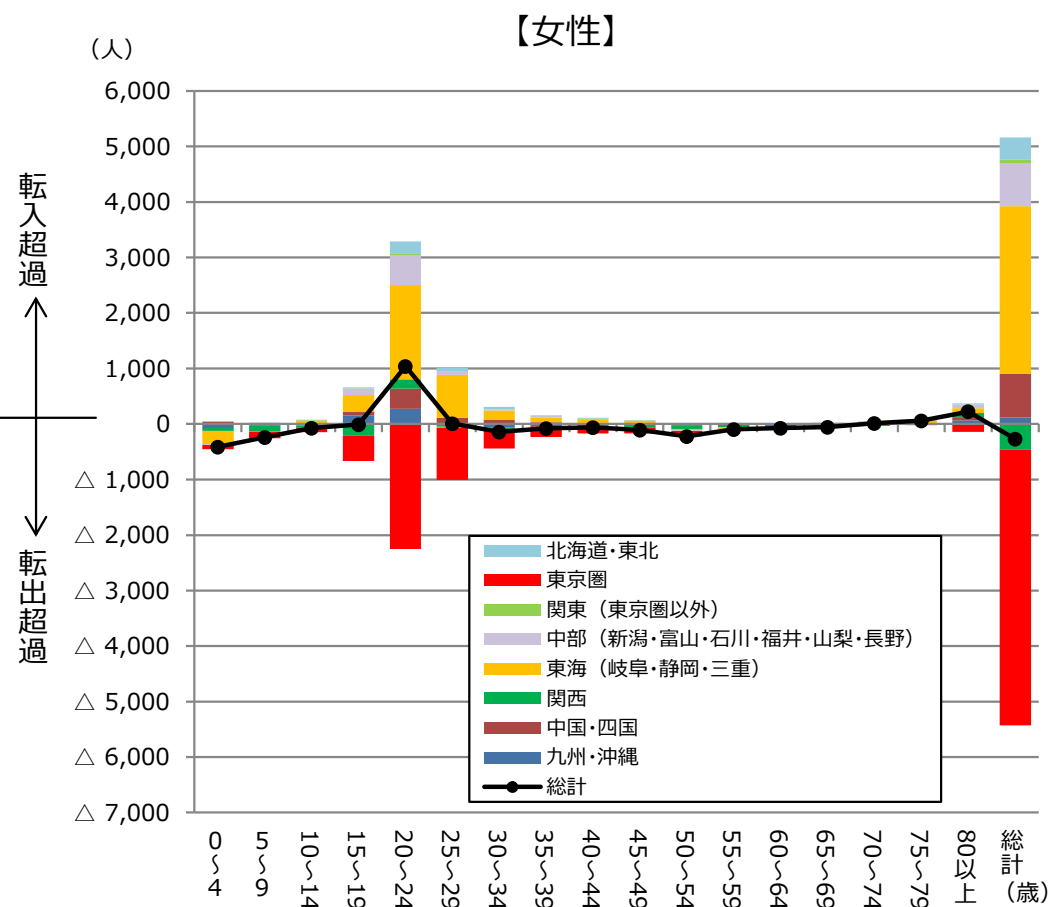
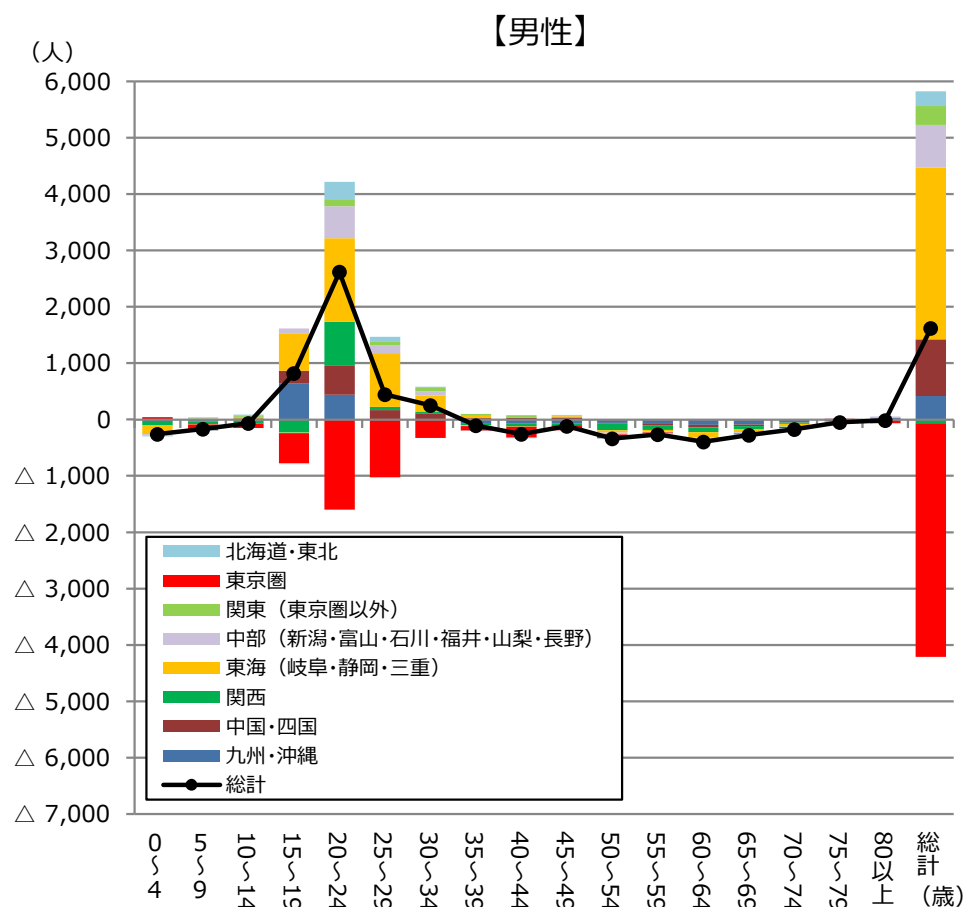
36	青森	1.14
36	新潟	1.14
36	大阪	1.14
39	岩手	1.09
39	埼玉	1.09
39	千葉	1.09
42	神奈川	1.08
43	京都	1.05
44	秋田	1.04
45	北海道	1.01
46	宮城	1.00
47	東京	0.96

全国	1.15
----	------

男女別・年齢別転出入超過数（国内移動）

- 男性は、15～24歳で東海、中国・四国、九州・沖縄などを中心に転入超過となっているが、東京圏（東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県）に対しては、20～29歳で転出超過が大きくなっている。
- 女性は、東京圏に対しては、大学卒業後の就職時に当たる20～24歳における転出超過が、男性よりも大きくなっている。

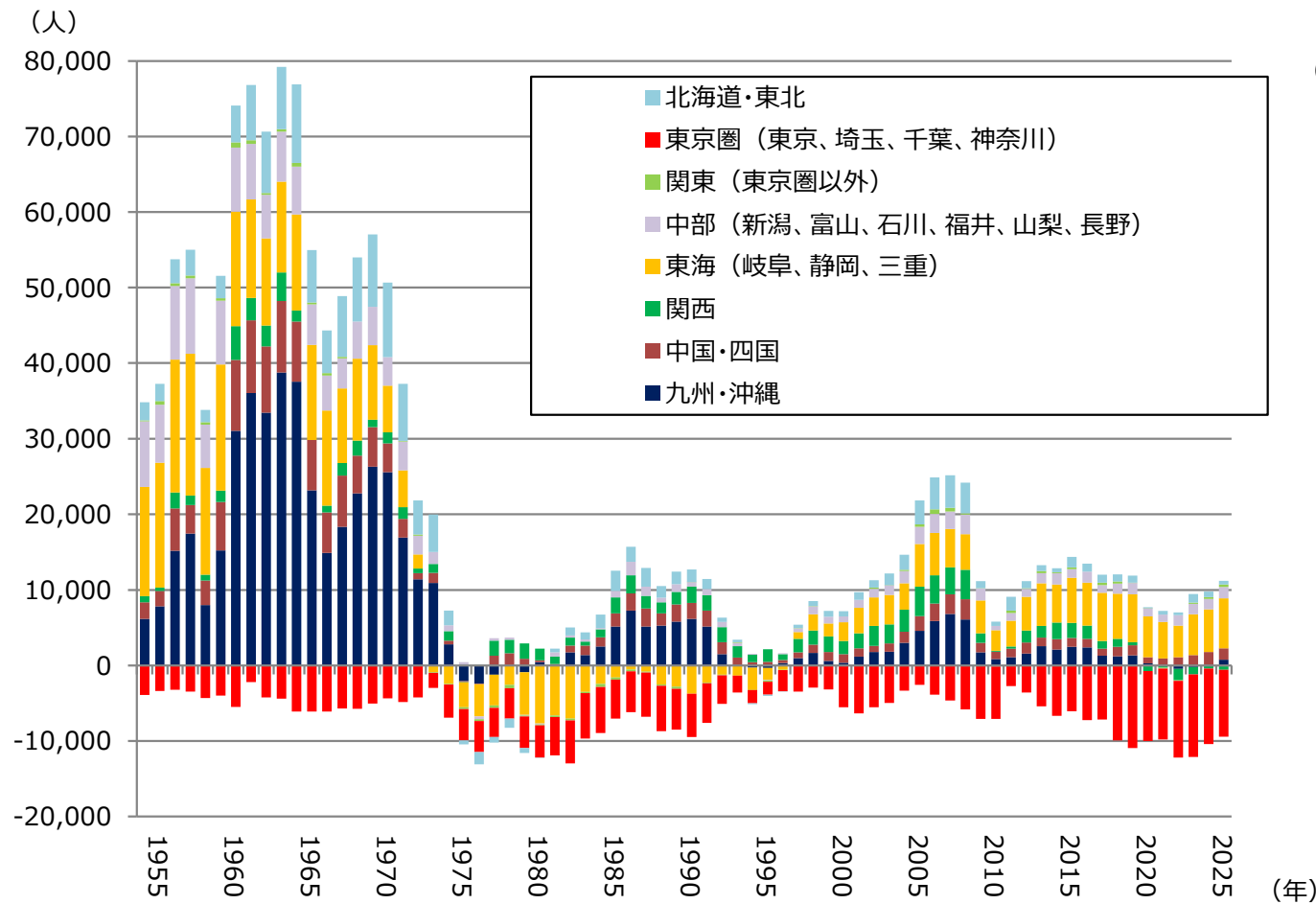
愛知県の男女別・年齢階級別の人口移動状況（2025年）



転出入超過数の推移

- 近年では、東京圏に対し、毎年 1 万人程度の転出超過が続いているほか、関西に対しても転出超過の傾向にある。

■ 本県と全国地域ブロック別の転出入の推移



■ 転入超過数累計 (1954年～2025年)

